

八尾をどっぷり楽しむ環境情報マガジン

かわちの風

No.
175
2022.7



いきいきとした活動を持続的に

2004年12月に設立して以来、「環境アニメティッドやお」は市民・事業者・教育機関・行政とともに活動を進めてきました。2022年4月の総会にて、名称を「環境パートナーシップ協議会 サソテナやお」と改め、再スタートを切ることとしました。これまでの「環境アニメティッドやお」の活動について、ふりかえりながら紹介していきます。



新たな再スタートを。

昨年、橋本前代表からバトンを受け取り、3代目代表を拝命いたしました竹元紀子です。環境アニメティッドやお10周年記念交流会に参加したご縁で、個人会員ではありますが運営委員と広報に関わってまいりました。微力ながら尽力いたす所存です。宜しくお願い申し上げます。

今年は当協議会にとって2002年の自主的調査研究グループ発足より20年を迎える節目の年でもあります。昨年の代表交代に引き続き、今年度は名称を改めることになりました。

サソテナやおでは、子どもたちへの環境教育を推進するために学校園への講師の派遣や、異業種の方々との交流の中で生まれた新しい環境活動への取り組みを支援していきます。小さな市民の声も、企業や団体の活動も、関わりたい人々を誘い合って繋げて行きたいと思えます。さらなる高みに向かって活動を開始します。より多くの方々が八尾の環境に興味関心を持って行動出来るように、発信し続けてまいります。

多くの方々に愛されてきた「環境アニメティッドやお」ですが、「環境パートナーシップ協議会 サソテナやお」となりましても宜しくお願いいたします。

環境パートナーシップ協議会 サソテナやお
(旧：環境アニメティッドやお)
代表 竹元 紀子

「環境アニメティッドやお」の名称の由来。

「アニメティッド」には、「いきいきとした」という意味があります。「みんなでいきいきとした環境活動を八尾でやっていこう!」という初代代表の菅 春水氏の強い想いから、協議会の名称が「環境アニメティッドやお」に決まりました。

「サソテナやお」の名称の由来。

「サソテナやお」には、「サステナブル」と「さそってな」という2つの意味があります。

これまでの「アニメティッド」に込められた想いは継承しながら、多様な主体との情報交換や検討を通じて「サステナブル(持続的)」な環境活動の推進にあたっては、現状に満足することなく、新たな人材の発掘・呼びかけ、ネットワークの拡大をめざす考え方のもと、「環境アニメティッドやお」は、「環境パートナーシップ協議会 サソテナやお」として、新たに再スタートを切ることとなりました。



「環境アニメイティッドやお」のこれまでの歩み

「環境アニメイティッドやお」は、多様な主体が行っている活動への支援や事業の推進を行ってきました。それらの活動は、環境活動を行うための人づくり・場づくりにつながるものばかりです。

- 森林保全活動のリーダーを育成し、高安山をはじめとする自然環境の保全を目的とした「自然楽校」
- 八尾を含めた河内の史跡や民俗的遺物などを巡り、楽しく歴史を体感できる「歴史楽校」
- 絶滅危惧種「ニッポンバラタナゴ」を保全するための「保護池定期調査」

など多岐にわたります。



年度

2002年



企業主体により環境活動を検討

12月に、自主的調査研究グループを発足し、地域での具体的な環境に関する事業者の活動のあり方や地域貢献のあり方について検討を行った。

2004年



協議会設立

自主的調査研究グループでの議論を重ね、2004年12月、総会を開催し、「八尾市環境総合計画」の推進主体として規約を定め、協議会を設立。

2005年



フェスティバル開催・AG設立・広報紙発行

2005年11月、第1回となる「いきいき八尾環境フェスティバル」を開催。自主的かつ具体的に行動をするためのネットワークづくりを第1の目標に開催。第1回目にして、1500名の市民の方に来場いただいた。市民・NPO・企業が、5つのアクティビティグループ（AG）に分けられ、自然環境AG・環境教育AG・生活環境&食の循環AG・エコツーリズムAG・企業環境AGで会合が行われ、「いきいき八尾環境フェスティバル」の開催を通じて、自主的な活動の推進につながった。また、広報委員会では、「い〜わ 河内の風」を発行。当協議会の活動だけでなく、市民・NPOの活動紹介を行ってきた。



2006年



高安山自然再生の活動・企業との協働

郡川の川が涸れ、ゲンジボタルが減少したことから、森林涵養機能の確保のため、高安山を保全する活動「高安山自然再生定期活動」がスタートした。また、八尾ライオンズクラブの協力により、希少生物が棲むための環境整備として、ため池の泥の除去作業が行われた。



2007年



全国タナゴサミット開催 自然楽校・八尾北ビオトープスタート

NPO法人ニッポンバラタナゴ高安研究会が中心となって、全国タナゴサミットin八尾を開催し、プリズムホール小ホールは満席になり、立ち見も含め510名の方に参加いただいた。関係者の宿泊施設の手配、地域でのポスター掲示や新聞掲載による情報発信など、サミット開催に向けての準備が多様な主体の協力・協働によって、進められた。



有限会社 大一創芸

FUKUSA FACTORY

581-0815 八尾市宮町4丁目3番30号
TEL072-999-6414 FAX072-997-5481
HP <https://hukusa.co.jp>

◆居宅介護、重度訪問介護、移動支援
◆訪問介護 ◆就労継続支援B型事業所

株式会社かがやき
〒581-0025 八尾市志紀町西4-61
TEL 072-951-5160 FAX 072-951-6735

環境パートナーシップ協議会
サソテナやお
会員募集中！

年間会費：個人1,000円
市民団体2,000円
事業者5,000円
事業者団体10,000円

■問合わせ先
事務局 TEL：072-924-9359

年度

2008年

生物多様性保全推進支援事業採択・NPO設立・歴史楽校スタート

2ヶ年度に渡り、環境省の「生物多様性保全推進支援事業」の補助金の採択を受け、ニッポンバラタナゴの保全にかかる事業や環境フェスティバルを実施。環境活動の実践主体となるNPO法人グラウンドワーク八尾が設立し、上記事業の推進に一翼を担った。

2009年

代表交代・環境首都コンテスト入賞

2009年11月の臨時総会にて、初代代表の菅氏が代表を辞任し、大阪経済法科大学地域経済研究所長の橋本氏が2代目代表に就任した。「日本の環境首都コンテスト」では、従来の枠組みでは十分には対応できない環境諸課題に積極的に取り組んでいる点が評価され、先進事例特別表彰を受賞した。



2011年

プロジェクト未来遺産に登録

長い歴史と伝統のもとで豊かに培われてきた地域の文化・自然遺産を、100年後のこどもたちに伝える「プロジェクト未来遺産」に、「ニッポンバラタナゴを守る伝統的な溜池浄化法“ドビ流し”の継承」が登録された。



2012年

環境フェスティバル学生事務局を設置

会場を大阪経済法科大学の花岡キャンパスから、西武八尾店（現LINOAS）へと移した。また、フェスティバルの運営において、近隣大学生が集まり、フェスティバルの運営について支援をする新たな体制が構築された。第82号から広報紙「河内の風」に改称。



2013年

ビオトープコンクール会長賞を受賞

全国学校・園庭ビオトープコンクール2013日本生態系協会会長賞を受賞。八尾北高校は同コンクールの日本生態系協会賞、大阪経済法科大学は同コンクールの環境大臣賞を受賞した。



2014年

10周年記念・高安自然再生協議会へ参画

八尾市文化会館にて、設立10周年記念交流会を開催した。これまでの環境アニメイティッドやおの歩みやこれからの環境アニメイティッドやおについて、意見交換が交わされた。自然再生法に基づき、高安自然再生協議会が設立された。環境アニメイティッドやおも高安自然再生協議会に参画。



2015年

合同ボランティア説明会“合同新歓”を開催

環境活動交流会を通じて、人材不足が市民団体の共通課題であることがわかり、学生向けの合同ボランティア説明会「合同新歓」を開催。団体同士が合同で行うことで、協力し合いながらより多くの学生を呼び込み、学生たちへより多くの活動を知ってもらえる機会となった。



株式会社伸明
〒581-0041 八尾市北木の本4丁目72番地
TEL 072-991-3700 FAX 072-922-6953



HKP 業界No.1を目指しています。
皆で描く夢は志で変わる。
ISO9001・ISO14001取得
株式会社平和化研
〒581-0035 八尾市西弓削1丁目38-1番地
TEL 072-929-9997 FAX 072-929-9919



「漏れを防ぐ」
シール製品の商社
東輝産業株式会社
〒581-0068 八尾市跡部北の町1丁目3-17
TEL 072-990-3270 FAX 072-990-3570

年度
2016年



生駒・高安山花屏風ハイキングを開催(共催)

生駒山系森づくりサポート協議会が主催、当協議会共催の花屏風ハイキングに、高安の森自然楽校・八尾ふるさと歴史楽校のみなさんに協力いただき、イベントを開催。



2017年



こぼれ話掲載・「かわちの風」をカラーで発行

2005年度から2009年度まで事務局を担当していた新福さんに、当時の裏話や苦悩をつづる記事を寄稿。これまで、白黒で印刷を行っていた「河内の風」を企業のご協賛によりカラー印刷で発行することになった。第151号から広報紙「かわちの風」に改称。



2019年



地域循環共生圏事業の採択

第5次環境基本計画で、新たに提唱された「地域循環共生圏」にかかる事業の補助金採択を受けた。自立分散型社会の構築にかかる事業のプラットフォームの整備(環境整備)をスタートさせた。

2020年

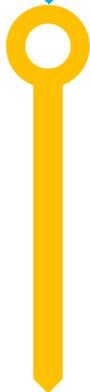


きんたい廃校博物館の開館

地域循環共生圏の事業を検討する中で、ニッポンバラタナゴを軸としたマンダラ図を作成。廃校を活動拠点として活用し、ニッポンバラタナゴを中心とした博物館を開館。地域に高安の生態系を知ってもらえる場を作った。



2021年



廃校を定期的の開校

飲食や物販の店舗を誘致したり、廃校でのイベントを定期的開催。地域の人たちに廃校での活動を知ってもらう機会を創出し、ニッポンバラタナゴや河内木綿、木育について発信。

2代目代表の橋本氏が退任し、竹元氏が3代目に就任。



環境アニメイティッドやおのこれまでの歩みを書くにあたって

2005年5月から発行を続けている広報紙「い〜わ 河内の風」に掲載されている内容を時系列で整理をしました。これまで広報紙の発行に携わってきていただいた方々、記事の校正にあたってご協力・ご助言いただきました元事務局の新福さんに感謝の意を表します。広報紙発行にあたり、ご協賛による支援をいただきました事業者さま、誠にありがとうございます。今後は、環境パートナーシップ協議会 サソテナやおとして、再スタートし、活動を続けてまいりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

カシケイ 3R+スマートファクトリー

Reduce (09F-30) Reuse (003-30) Recycle (09F-090)

〒282-0008 大阪府柏原市本郷5丁目3番28号
TEL 072-973-0601 FAX 072-973-0610
URL: <http://www.wakashikiei.co.jp>
E-mail: info@kashikei.co.jp

プリント配線基板製造メーカー

「次の工程は常に顧客である。」

をモットーに躍進する

E-mail: tamukai@cyber.ocn.ne.jp
URL: <http://www.tamukai.sakura.ne.jp>

田向電子工業株式会社
〒581-0066 八尾市北亀井町2丁目3-5
TEL 072-925-7220 FAX 072-925-7240

有本化学工業株式会社

〒581-0052 八尾市竹洲2丁目48
TEL 06-6708-2123 FAX 06-6708-7662

Eco Animated Yao Archives

環境アニメイテッドやおアーカイブス



柴谷パッキング工業株式会社 八尾工場
〒581-0042 八尾市南木ノ本9丁目17-1
TEL 072-923-9355 FAX 072-923-9358

グラフィイトパッキン
DIGIC
DIGITAL SYSTEM COMMUNITY
高温油・ガス・高圧蒸気から低温流体まで厳しい条件で使用可能

株式会社 デジック
〒581-0053 八尾市竹湊東1丁目209
TEL 06-6790-8585 FAX 06-6790-4611



株式会社 共立ヒートテクノ
〒581-0051 八尾市竹湊西4丁目28
TEL 06-6709-6156 FAX 06-6707-1743

無垢の木で
愉しむ家

本格
木造
住宅
和木

yawaragi

株式会社 ビービーハウス P&T
http://www.bh-chumonjyutaku.com/